

デボラ・カー

Deborah Kerr

生年月日 1921/09/30

出身地 イギリス／スコットランド、ヘレンズバーグ

没年 2007/10/16

関連人物 ピーター・ヴィアテル（夫）

【バイオグラフィ】

■本名はDeborah Jane Kerr-Trimmer。二つのバレエ学校に学ぶ。39年野外劇に出演していた時、ガブリエル・パスカル監督に認められ41年映画デビュー。翌年には主役作品にも恵まれた。「老兵は死なず」出演後の46年、ハリウッドに呼ばれ「黒水仙」に出演。翌年には「自信売ります」でゲイブルと共演してスター街道を渡っていく事に。53年、ブロードウェイの舞台『お茶と同情』に出演（後に映画化）。このあたりから演技派として次第に実力を発揮し、「地上（ここ）より永遠に」、「王様と私」、「めぐり逢い」と続く。しかしアカデミー賞とは無縁で計6回のノミネート作品があるが、いずれも受賞には至らなかった。62年脚本家のピーター・ヴィアテルと再婚。前夫との間に二児がいる。69年の「さすらいの大空」以降、半引退状態だったが82年に一時復帰。95年にはアカデミー名誉賞を受賞した。

【フィルモグラフィ】

| | |
|------------------------|----------------|
| 華麗なる女実業家 続・炎のエマ (1986) | 出演 |
| 炎のエマ (1984) | 出演 :エマ・ハート |
| アガサ・クリスティ・シリーズ (1982) | 出演 |
| 検察側の証人 (1982) | 出演 |
| アレンジメント／愛の旋律 (1969) | 出演 |
| さすらいの大空 (1969) | 出演 |
| 天使のいたずら (1968) | 出演 |
| 007／カジノ・ロワイヤル (1967) | 出演 :ミミ |
| 結婚専科 (1965) | 出演 |
| 妖艶美女大全集／銀幕の女神たち (1965) | 出演 |
| イグアナの夜 (1964) | 出演 :ハンナ・ジェルクス |
| ドーヴァーの青い花 (1963) | 出演 |
| 回転 (1961) | 出演 |
| 六年目の疑惑 (1961) | 出演 |
| サンダウナーズ (1960) | 出演 |
| 芝生は緑 (1960) | 出演 :ヒラリー・レイオール |
| 悲愁 (1959) | 出演 |
| 愛ふたたび (1959) | 出演 |
| 旅路 (1958) | 出演 |
| 旅 (1958) | 出演 :ダイアナ・アシュモア |
| 白い砂 (1957) | 出演 :シスター・アンジェラ |
| 悲しみよこんにちは (1957) | 出演 |
| めぐり逢い (1957) | 出演 :テリー |

| | |
|----------------------|------------------|
| お茶と同情 (1956) | 出演 : ローラ・レイノルズ |
| 王様と私 (1956) | 出演 : アンナ |
| 誇りと冒瀆 (1956) | 出演 |
| 情事の終り (1954) | 出演 : サラ・マイルズ |
| 東方の雷鳴 (1953) | 出演 |
| ジュリアス・シーザー (1953) | 出演 |
| 悲恋の王女エリザベス (1953) | 出演 |
| 地上 (ここ) より永遠に (1953) | 出演 : カレン |
| ゼンダ城の虜 (1952) | 出演 : フラビア姫 |
| クオ・ヴァディス (1951) | 出演 : リジア |
| キング・ソロモン (1950) | 出演 : エリザベス・カーティス |
| 黒水仙 (1947) | 出演 : シスター・クロード |
| 自信売ります (1947) | 出演 |
| 老兵は死なず (1943) | 出演 |